

5 本年度の重点における努力点・具体策

学校経営方針に基づく5つの重点ごとに、3か年で取り組むことを「努力点・具体策」として示す。これらの取組を教育課程として編成し、全教職員で協働しながら実施・評価・改善していくことで、目指す子ども像の育成を図りたい。



重点1：本校ならではの教育の充実

(1) 地域の教育資源を生かした教育活動の充実

① 各教科等での地域の教育資源（人、歴史、文化、施設等）を生かした体験学習（ふるさと学習）を教科横断的な視点で効果的に実施する。	・各教科等 ・ふるさと学習
② 山本有三先生の作品や生き方・考え方をデジタル教材化し、各教科等において計画的に指導する。	・各教科等 ・ふるさと学習

(2) 誰もが安心できる包摂的な学校づくりの推進

① 学年会や校内研修で特別支援学級や通級指導等での個別の指導・支援の共有化を図ることで、通常学級での指導・支援の質を高める。	・特別支援教育・すぐすぐ教室 ・ほんご教室・ことばの教室 ・学年経営・校内研修
② UDの視点での授業や環境づくりを行うとともに、特性に応じた指導・支援を工夫する。	・学習指導 ・学級経営

(3) 児童理解による組織的な児童指導の充実

① 児童とのふれあいや教育相談を通して児童理解に努め、児童との信頼関係の構築に積極的に取り組む。	・学級経営 ・教育相談
② いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応に向け、学年・学級を越え学校全体で課題を共有し、児童指導主任を中心として組織的に解決に取り組む。	・児童指導
③ 校内教育支援センター「かけはし教室」を新設し、長期欠席が続く児童等が安心できる居場所づくりを行う。	・かけはし教室



重点2：「学ぶ力」を育む教育の充実

(1) 主体的・対話的で深い学びの充実

① 栃木西中ブロックでの「主体的に学びに向かう子どもの育成」に向け、「とち介の学び」による授業改善に取り組む。	・各教科等
② 栃木市グローバル教育（ふるさと学習、グローバル教育プログラム、外国語教育）を推進し、多様な他者と協働して多角的・多面的に考え課題を解決する力を育成する。	・ふるさと学習 ・グローバル教育プログラム ・外国語教育
③ 朝の活動や授業に役立つような、「やってよかった」「面白い」と実感できる家庭学習の課題を工夫する。	・各学年
④ 学校課題研究に組織的に取り組むために研修の持ち方の工夫や活性化を図る。	・学校課題

(2) 学びに向かう学級集団づくりの充実

① 互いのよさや違いを生かし合う学業指導による「学びに向かう学級集団づくり」を中心とした学級経営に計画的に取り組む。	・学級経営 ・学業指導
② Q-U等による実態把握に基づき、学級経営の工夫改善を図る。	・学級経営

(3) ICTや学校図書館の効果的な活用

① タブレット端末等ICTの積極的な活用と系統的な情報活用能力と情報モラルの指導の充実を図る。	・情報教育 ・各教科等
② 図書館教育の取組と国語科の学習内容を効果的に関連させ、進んで読書に親しむ児童の育成を図る。	・図書館教育 ・国語科



重点3：「豊かな心」を育む教育の充実

(1) 自他の大切さを認め合う心を育む人権教育の充実

① 学年・学級やなかよし班などでの様々な場面で、お互いのよさや努力を認め合う活動を実施する。	・人権教育 ・学級経営 ・なかよし班活動 ・清掃活動
② 児童の人権意識を高めるための活動や学習環境（言語環境・掲示物）を工夫する。	・人権教育 ・学級経営

(2) 自己の生き方を考える道徳教育の充実

① 道徳教育における各学年の重点項目を設定し、各教科等の学習内容や体験活動を効果的に結び付けた指導計画（別葉）の工夫改善を行う。	・道徳教育
② 道徳教育の要となる道徳科の学習において、物事を多面的・多角的に考えたり、自己の生き方についての考えを深めたりする展開を工夫する。	・道徳科

（3）よりよい人間関係を形成する特別活動の充実

① 異年齢集団（なかよし班）の様々な交流や協働を通して、お互いを大切にする人間関係を形成する力を育む。	・なかよし班活動
② 特別活動（学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事）の学習過程において、児童同士が認め合い、互いのよさを生かす関係づくりを図る。	・特別活動

重点4：心身の健やかな成長を促す教育の充実



(1) 体力向上に向けた活動の充実

① 児童が個別の目標達成に向け意欲的に取り組む体育の授業の工夫改善を図り、運動への主体性を育む。	・体育科
② 体力テストの結果等で課題が見られる体力について全教職員の共通理解を図り、系統的で日常的な指導に取り組む。	・体育科 ・校内研修

(2) 健康づくりへの意欲を高める教育の充実

① 養護教諭・栄養教諭や関係機関と連携し、児童の発達の段階に応じた保健、食育の指導の充実を図る。	• 保健指導 • 食育指導
② 食物アレルギー、身体的配慮のある児童への対応を全教職員で共有し、指導に当たる。	• 校内研修

(3) 自他の生命を守る力を育む学校安全の推進

① 交通安全、災害安全の視点で、関係機関等と連携して自他の生命を守る力を育む効果的な訓練等を実施する。	• 安全教育
② 計画的で組織的な安全点検を実施し、関係機関と連携して迅速な改善に取り組む。	• 安全点検 • 組織活動



重点5：地域とともにある学校の推進

(1) 家庭・地域との連携・協働の推進

① 学校運営協議会での熟議、PTAとの連携、とちぎ未来アシストネットの積極的な活用により教育活動の充実を図る	• 学校運営協議会 • PTA • 地域連携 • 学校評価
② 児童の課題を家庭と共有し、「あいさつ」や「十分な睡眠」、「食習慣」、「衛生習慣」などの基本的な生活習慣の定着を図る。	• 各学年 • 食育指導 • 保健指導

(2) 家庭・地域への情報発信の充実

① 連絡帳やさくら連絡網等を活用し、児童・保護者の安心と信頼を高める個別の情報発信に取り組む。	• 学級経営
② 各種たよりや学校ホームページ等により、児童の活動や成長の様子を中心とした学校・学年・学級からの情報発信に取り組む。	• 学年経営 • 各担当

(3) 幼保小連携・小中一貫教育の推進

① 幼稚園、保育園等との情報交換等による児童理解を図り、スタートカリキュラムによる滑らかな接続の充実を図る。	• 幼保小連携 • 第1学年学年経営
② 栃木西中ブロックでの小中一貫教育を推進するとともに、特に進学時の中学校への引継ぎの充実を図る。	• 小中一貫教育